※図は委員会資料より。
Q&Aは委員会質録および
ヒアリングにて。

平和の森公園
再整備構想イメージ図

施設名	機能・規模
屋内運動施設（体育館）	・メインアリーナ（バスケットコート2面） ・サブアリーナ（バスケットコート1面） ・武道場・柔剣道場（3室） ・卓球場、トレーニングルーム ・事務室、多目的室、更衣室、倉庫 ・平和啓発機能 ・飲食・休憩スペース、テラス等
陸上競技機能	300mトラック、直線100m
多目的広場	野球、少年サッカー、フットサル等
ウォーキング・ジョギングコース	900m程度

Q. トラックはどういった使い方を想定しているのか。いまのように、草地広場内にいつでも自由に出入りすることはできなくなるのではないか。

A. 部活動や地域での利用を考えている。そういった使用時には占有を考えているが、1年中ということではないので可能な限り共存を考えていきたい。

Q. 体育館の規模や高さはどの程度を想定しているのか。

A. 既存の中野体育館の規模を基本に全区的なスポーツ大会が円滑に実施できる内容を備えたものとする。高さに等については、今後、検討をしていく。

Q. 大人も利用可能な多目的広場とするとのことだが、現在の少年スポーツ広場よりどの程度拡がるのか。それによって、樹木林が伐採されることにはならないのか。

A. 規模についての検討はこれからおこなっていく。

Q. 配置図を示したのは今回が初めてであるにもかかわらず、スケジュールが性急すぎるのではないか。地元での説明会も開催すべきではないか。

A. 今後、意見交換しながら計画策定をしていく。

ウォーキング・
ジョギングコースとしても
使いやすい園路の整備

手入れを行い
快適性の仕上がった
防火樹林

既存の水辺を
活かした新たな
水辺を創出

草地広場
陸上競技にも利用できる
広場の整備

都下水道局
中野水再生センター

妙正寺川

多目的広場
周辺の緑地と一体となった
多目的広場

屋内運動施設
（体育館）
憩い休息機能を備えた
屋内運動施設

草地広場の拡充

プロムナード空間の創出
ケヤキ並木の継承

未開園区域の有効活用

沼袋駅▶

少広場

国家公務員宿舎跡地の
有効活用

メインアリーナ
サブアリーナ
機械室など
エントランス
下水処理施設

0 20 50 100 200(m)

裏面もご覧下さい▶